

我孫子市消費者の会

お知らせ

2012年4月10日 第38期 No. 1-430号

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syouthisyanokai.com/>

遅れていた桜が一斉に開き、小学生の入学式が満開の桜のもとに行われました。

そんな中にも、一年経った大地震、津波、原発事故から復旧できない地域、多くの人への思いを忘れることはできません。

我孫子市消費者の会は会員110名で38期に入りました。連休明けに総会を開きます。

総会のお知らせ

総会資料を配付します。

5月7日(月) 13:30~16:00

我孫子北近隣センター 並木本館ホール

記念勉強会として「我孫子で受けられる医療～知っておくと良いこと～」と題して、栗原洋子さんに話していただきます。この部分は一般公開します。

栗原さんがACOBに頼まれて話したものに、介護の部分も少し足して、我孫子での実状を話してもらいます。副題の通り「知っておくと良いこと」がいっぱいです。是非ご参加ください。チラシを裏面に印刷します。

勉強会終了後総会、5月の定例会も行います。ご協力ください。

やむを得ず欠席の方は委任状を5月3日までに運営委員、役員にお届けください。

今年も緑のカーテンを

原発がなければ経済も家庭も困ると、政府は大飯原発の再稼働に突き進んでいるようです。私たちは昨年以上に節電の実績を上げましょう。その一つとして緑のカーテンで、冷房電力の一層の節減を。

手賀沼流域フォーラムの我孫子地区企画の一つとして消費者の会主催の緑のカーテンの講習会を開きます。今年はゴーヤとヘチマの苗を手

賀沼トラストの方達が育ててくださり、一人2本が無料で配られます。是非ご参加の上、今年も緑のカーテンを作りましょう。(チラシ裏面)

5月12日(土) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター 9F ホール

内容 ●「水と地球」アニメ

「手が沼は今～暮らしにひと工夫」

●「カーテンづくりのコツ」相談会

費用 無料(せっけんと苗をプレゼント)

先着 100名 申込 加藤 和田

千葉県消費者フォーラム

5月24日(木) 12:30~15:30

千葉市文化センター アートホール

・基調講演 上 昌広氏(東京大学医科学研究所特任教授)

「放射能を考える～福島県浜通り地区での活動を通して～」

・事例発表「安全な食品の提供をめざして」

イオン(株)品質管理部長 仲谷正員氏

直売所「かしわで」代表 染谷茂氏

申込 加藤 和田 4月20日までに。

交通費は会が負担します。

放射性物質新基準越えが

1月のお知らせで、4月から食品中の放射性物質の基準が厳しくなると、お伝えしました。たけのこは天然物ですから、我孫子産がセシウム170ベクレル検出され、地域全体が出荷停止になりました。地元の美味しい新鮮なたけのこが、今年は食べられなくなりました。地産地消も壊す原発です。



高齢社会への対応を探る会

昨年度の会長はふれあい弁当の会の坂巻さんでした。今年は消費者の会ということで、和田になりました。

ここ数年、地域で見守りの体制をどう作るかに焦点を当ててきました。そして団体だけでなく、一般参加が認められています。我孫子の高齢社会の動きがよく分かり、それを一緒に作っていく思いで、参加される方が増えています。

原則第3水曜日の13:30からアビスタ第2学習室です。どうぞご参加ください。

消費生活展について

我孫子市民活動ネットワークの会報編集の方から頼まれて、活動報告として「36年目を迎えた消費生活展」について書きました。

我孫子の消費生活展の特徴は初めにその年のテーマを決めることです。何を目的として、どのような段取りで作られているかを書きました。

官民協働の事業として長年続いている役割分担の部分も含めて、参考になれば幸いです。転載します。

会員活動の紹介

36年目を迎えた消費生活展

今年も2月11～12日、あびこ市民プラザで、毎年恒例の我孫子市消費生活展を開いた。迎えて第36回である。今年のテーマは「3.11大震災 その後あなたは?」。来場者は2日間で788人を記録した。

この我孫子市消費生活展は我孫子市消費者の会が1975年、市の農業まつりの中にスペースを借りて行ったのが始まりである。その後行政が加わり、参加団体もテーマに合わせて増えてきた。

最近では10の団体と行政（担当は商工観光課消費指導係）、公益企業等が実行委員会を作り、消費生活向上のための啓発を担っている。

類似の展示会は他にもあるが、我孫子の特長は、毎年その年のテーマを決め、そのテーマに沿ってまとまった展示になるよう、開催月の翌月から毎月1回、都合11回の実行委員会で検討を重ねていることである。

もし10の団体が自分達の主張や団体紹介をすると、来場者は全部見終わった後で、何を見たかが頭に残らない。そこで我孫子はまず、実行委員会でテーマを決め、各団体はそのテーマの中でどういうことを啓発したいかを定める。そして、2回目の実行委員会では中身がダブらないように調整し、その上で各団体がパネル案をつくり、それを他の団体も見て、よりわかり易い表現になるよう修正していく。

その後印刷所のデザイナーがパネルにし、それに修正を重ねてもらう。パネルには「字を少なく、一目で内容がわかるような絵を中心とする。1枚のパネルには1つの主張」という原則がある。この原則は、ある職員の指導の賜物であった。

このような段取りで、11回の実行委員会を経て我孫子市消費生活展は開催の運びとなる。事務局は調整と経費負担が役割で、中身はできるだけ団体に任せるという姿勢、団体はすべてボランティア参加で目的を達成することに徹している。

塩麴を使って見ましたか

3月の定例会で三ツ木さんから塩麴の作り方を教えていただきました。4月の定例会では、使ってみての感想と質問に答えてもらいました。新木地区の長谷川さんが「免疫力をアップする塩麴のおかず」という本を持ってきてくださいました。その中から少しずつ、紹介していこうと思います。まずは簡単な食べ方から。

きゅうりの簡単漬け

きゅうり1本 塩麴 小さじ2

きゅうりは1cm幅に斜めに切る。保存袋に入れて軽くもみ、2時間置く。

カブでもゴーヤでも、好みの味になるように塩麴の分量を工夫して。

・・・キリトリ・・・
委任状

我孫子市消費者の会第38期総会の決議に関する権限を さんに委任します。

氏名

住所